

建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応調査

地区名：塩江

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当部局	担当課	対応方針
塩江地区	1	高松新病院附属医療施設(塩江病院)の施設整備	<p>高松新病院の基本構想では、平成23年度末までに介護療養病床を廃止するという国の方針を踏襲した県地域ケア体制整備構想試案が示され、それに呼応する形で、塩江病院の病床数は87床から60床に大幅に削減されています。</p> <p>今年度末までに策定されることになっている新病院の基本計画の中で、病床数がこのまま確定すれば、転換先となる老健や特養などの施設整備が十分でない塩江地区住民にとっては、大きな不安を抱えることとなります。市としては、国や県の動向を見ながら対応したいと考えてですが、時間的な制約もあります。高齢化率40パーセントに迫る地域の特殊性も考慮したうえで、介護病床数の削減を最小限に止めるよう国や県に対して働きかけを強めるとともに、独自の受け皿整備を早急に要望します。</p> <p>また、基本構想の中で、塩江病院の建設場所については、市有地のほか民有地も含め検討したいとされており、基本構想の中で提示された市有地は、いずれも手狭です。全床を療養病床とするのなら、ゆったり長期療養ができる十分なスペースが必要です。地域の医療を支える唯一の拠点病院としての重要性を御理解をいただき、市有地に固執せず環境に恵まれ、諸条件を満たした地域住民が切望する民有地の採択を要望します。</p>	病院部 健康福祉部	経営管理課 保健対策課	<p>高松市新病院基本構想における塩江病院の病床数は、平成23年度末の介護療養病床の廃止や患者数の将来見通し等を踏まえ、医療療養病床を60床程度としました。</p> <p>この病床数につきましては、今後、国の動向等を見極めるとともに、市議会や地域審議会の御意見をいただく中で、本年度策定予定の新病院基本計画において、明らかにしてまいります。</p> <p>また、附属医療施設の整備場所については、市有地のほか、地域審議会等から要望された民有地を含め、防災面には特に留意する中で、患者の利便性、整備費用など、多面的に検討を行ってまいりたいと考えています。【経営管理課】</p> <p>介護療養病床も含め、療養病床につきましては、比較的長期間の入院を要する方にとり、重要な受け皿と存じておりまして、国において、療養病床削減策を見直す動きも見られますことから、今後、その動向を注視するとともに、必要な医療が将来的に確保されるよう、適切に対応してまいりたいと存じます。【保健対策課】</p>
塩江地区	2	市民の森づくり事業	<p>橋谷・黒石地区には、環境を考え勉強できる「エコホテル」があり、児童生徒を対象とした体験教室も開催されています。この施設に隣接した市有林の整備は、自然学習や環境教育を実践する場としての拠点施設整備の面からも有効な施策であると考えます。</p> <p>この市有林の有効活用については、旧町時代から検討が行われており、平成19年度に市民の森づくり事業として整備の要望も行いました。その対応については、黒石地区の一部をフォレストマッチング協働の森事業として3年程度で整備を進めるという限定的なものであり、事業終了後、そのまま放置すれば荒廃が進み、折角の活動も徒労に終わりがねません。今後、この整備地の管理を含む市有林の有効活用を図ることが必要と思われる。</p> <p>このことから、里山に親しみ散策ができる遊歩道整備、計画的な植栽や除伐による自然公園整備、子どもたちが自然と触れ合える体験施設の整備等、名実ともに市民の森として活用できるよう当該市有林の整備を要望します。</p>	産業経済部	農林水産課	<p>塩江地区では、市民が散策や野外レクリエーション等を通じ、自然とふれあい、親しむことができる大滝山自然休養林や松尾生活環境保全林が整備されています。橋谷・黒石地区の市有林については、現在、「フォレストマッチング協働の森事業」での整備が進められているほか、新たなボランティアによる同地区内での整備が始まったことから、今後、各団体の活動の推移を見ながら、市民と連携した市有林の管理・活用策等を、検討してまいりたいと存じます。</p>
塩江地区	3	コミュニティセンターの施設整備	<p>旧町時代には塩江地区に公民館がなく、住民の優れて待望する施設でした。合併を機に整備されることを望んでいましたが、現実には旧庁舎の一部を活用して公民館に充てるという期待はずれのものでした。</p> <p>塩江地区のコミュニティセンターは、平成21年度事業として、公民館として利用されていた部分を中心に約2,300万円の予算で改修されることになっています。コミュニティセンターは、地域住民のまちづくり活動や生涯学習の拠点として重要な役割を担う施設です。</p> <p>下笠居や三谷地区など他の市域では、新しくコミュニティセンターが建設された計画されています。塩江地区には当初から公民館としての機能を有する設備がなく、施設整備が優先されてしかるべきでないかと考えます。旧庁舎の一部改造では、他の地区に大きく見劣りするものといわざるを得ません。地域のまちづくり拠点として、名実ともに住民の誇れる施設整備を要望します。</p>	市民政策部	地域政策課	<p>塩江地区のコミュニティセンターについては、平成21年度のコミュニティセンター化にあわせ、塩江公民館として利用されていた部分を中心として、コミュニティセンターに必要な調理室などの施設改修整備を行うこととしております。</p> <p>この整備により、他のコミュニティセンターと同様に、地域住民のまちづくり活動や生涯学習の拠点となり得るものと考えております。</p> <p>なお、本市のこれまでのコミュニティセンターの施設整備については、旧公民館時代の生涯学習基本計画を引き継ぎ、改築整備を行ってきたところですが、現在の厳しい財政状況や早期の耐震化の必要性を考慮し、今後の施設整備については、既存施設の有効利用を図り、補修・修繕(耐震補強工事を含む。)を基本とするコミュニティセンター中期整備指針(案)を策定するため、先般、議会の調査会で説明したところであります。</p>
塩江地区	4	たかまつマイロード事業	<p>旧塩江町時代には、町道の草刈等の清掃活動は、町民が道路愛護会を結成して定期的に実施されていました。今年度からは経過措置が終了し、市の制度であるマイロード事業に組み入れられました。「自分たちの道路は自分たちで守る」という市民の「自助」の精神を喚起する点では評価できる事業だと思います。しかし、放置すればすぐに沿道には雑草が生え、樹木に行く手を遮られるような、条件の悪い塩江地区における清掃活動には、大変な労力と時間が必要であることも理解をお願いします。</p> <p>市道の管理は、一義的には市に管理責任があると思われしますが、高齢化の進んでいる当地区では、ボランティア頼りではおのずから限界があります。地区によっては限界集落に近いところもあり、清掃用具を使うマンパワーが圧倒的に不足しております。市街地を対象とした制度をそのまま山間地域に適用するには無理があるといわざるを得ません。</p> <p>市道の維持管理はボランティア任せでなく、「助っ人」としてシルバー人材の導入も考えられます。シルバー人材を雇い入れることによって、新たな雇用も発生し、地域の活性化にもつながるのではないかと考えます。今後、高齢化が更に進み、画一的なマイロード事業では対応が困難になると予想されることから、地域の特性に合わせた施策を要望します。</p>	都市整備部	道路課	<p>塩江町における市道の草刈りにつきましては、旧塩江町時には、各地区の道路愛護会が実施しておりましたが、この制度については、市町合併を機に、合併後3年の経過措置を経て、「たかまつマイロード事業」に移行することで協議させていただき、平成21年4月1日付けでマイロード団体として認定させていただきました。</p> <p>現在、「地域の道路は、地域住民で守る」といった愛護精神を引き継がれ、道路の美化・環境の推進に御尽力いただいております。今後とも、無理のない範囲内で、道路の清掃等に御協力いただきたいと思います。</p> <p>道路管理者といたしましては、今後とも、適切な道路維持管理に努めてまいりたいと存じます。</p>

建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応調書

地区名：塩江

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当部局	担当課	対応方針
塩江地区	5	温泉施設の整備	<p>塩江温泉は、今から約1,300年前に名僧行基により発見された歴史ある温泉として知られています。また、泉質と自然環境にも恵まれ、全国でも数少ない国民保養温泉地に指定をされています。塩江温泉のそれぞれの源泉は、優良な泉質であり高い評価がありますが、近隣地においても新たな温泉が次々と掘削され、塩江地区の入込み観光客数にも影響を及ぼしています。</p> <p>これからの塩江地区の観光振興に一番求められるものは、40度以上の源泉の発掘であると考えられます。適切な場所で市有泉を掘削し、温泉水の安定供給を図ることを要望します。</p>	産業経済部	観光振興課	<p>平成7年に旧塩江町が実施した温泉源調査において、塩江地域では地質や地形から推測して、深く掘削したからといって必ずしも高温泉や豊富な湧出量を確保できる可能性は非常に低いとした報告があり、今後も、既存の源泉（冷泉）の有効活用と、温泉水の安定供給に努めてまいりたいと考えています。</p>
塩江地区	6	コミュニティビジネス等の振興	<p>塩江地区の観光振興と地域コミュニティの構築には、地域の特色を生かし、地区住民が「住んで良かった」、来訪者が「来て良かった」と思うまちづくりを進めることが共通の課題であり、必要とされています。そのためには、地区住民一人一人が地域の豊かな自然や歴史、伝統文化などを誇りに持ち、大切に活用していくことが重要であり、また、行政の側面からの援助も必要なものと考えます。</p> <p>そこで、塩江温泉観光協会を中心に進める「循環型観光振興事業」と塩江地区コミュニティ協議会が取り組む「ゆめづくり提案事業」の連携と活動を行政として積極的に支援し、観光・交流に係わるコミュニティビジネス等の振興促進に努められることを要望します。</p>	産業経済部 市民政策部	観光振興課 地域政策課	<p>塩江温泉観光協会が中心に進める「循環型観光振興事業(マイスター事業)」は、住民が長年の営みの中で習得した技術や知恵を地域に伝承するとともに「観光客への遊び」「土産品の生産」の提供や「町内イベントの支援」などの活動であり、塩江地区コミュニティ協議会が取り組む「地域ゆめづくり提案事業」と連携して推進することにより、地域の活性化や新しい観光振興につながると考えられます。その事業計画段階には、観光振興課職員も参加しており、今後も両事業の連携・活動、また、それに伴うコミュニティビジネスについて支援・振興してまいりたいと考えています。【観光振興課】</p> <p>平成21年度において塩江地区コミュニティ協議会が提案した「コミュニティビジネスしおのえ」事業に対し、「地域ゆめづくり提案事業」として採択し、補助金を交付しております。今後においても継続事業として適当と認められた場合は、3年間を限度として助成してまいります。【地域政策課】</p>
塩江地区	7	観光ネットワークの構築	<p>これからの観光振興は、高松市単独ではなく、香川県、中四国、近畿圏とも広域的連携を図りながら進めることが必要と考えます。</p> <p>このことから、(財)高松観光コンベンション・ビューローや(社)香川県観光協会等との更なる連携強化を図り、様々な機会や媒体を活用し、塩江地区の情報発信やPR活動を推進するよう要望します。</p>	産業経済部	観光振興課	<p>塩江地域でのイベントの開催や観光振興の取組については、(財)高松観光コンベンション・ビューローのホームページの「ぶち旅プラン」や(社)香川県観光協会のポータルサイト「Myトリップかがわ」等でも、随時イベント情報や観光ルートの掲載をしており、今後も推進してまいりたいと考えております。また、備讃瀬戸観光協議会や東備讃瀬戸観光懇談会など、広域的な観光振興を図る事業において、塩江地区の情報発信を推進するとともに、関西圏においては、香川県大阪事務所等での観光情報の発信を依頼してまいりたいと考えています。</p>
塩江地区	8	観光イベントの充実	<p>塩江地区では、「桜まつり」「ホテルまつり」「温泉まつり」「もみじまつり」といづれも歴史あるまつりを開催してきていますが、時代の変化とともに観光形態も変化をきており、イベント内容の充実と強化が必要に迫られております。</p> <p>そこで、観光イベントの充実を図るため、行政のより一層の財政面も含めた支援と連携強化を要望します。</p>	産業経済部	観光振興課	<p>塩江温泉観光協会が実施している歴史あるまつりは、本市の観光振興事業に大いに寄与するものであることから、イベント内容の充実や強化を図るため、今後、一層、連携に努めますとともに、財政面においても、本市の財政状況を踏まえる中、適切な支援等に努めてまいりたいと考えています。</p>